

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社

コード番号 9610 URL <http://www.wlw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森 捷三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グローバルコーポレート本部 (氏名) 梶本 知大

TEL 03-6381-0234

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,008	△14.1	10	—	△25	—	△19	—
23年3月期第3四半期	2,337	△25.0	△407	—	△477	—	△399	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △15百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △419百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△4.08	—
23年3月期第3四半期	△83.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,917	1,078	55.3
23年3月期	2,104	1,093	51.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,060百万円 23年3月期 1,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	△10.8	65	—	30	—	10	—	2.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	4,793,680 株	23年3月期	4,793,680 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	230 株	23年3月期	230 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	4,793,450 株	23年3月期3Q	4,793,464 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢の変化等の不確定要素により実際の業績が予測数値と大幅に異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①業績の概要

世界経済情勢、東日本大震災と当第3四半期連結累計期間は厳しい経営環境下に置かれました。その反面、H R D事業への集中へ、経営合理化の効果は危機対応力として発揮され、海外事業は全地域で利益を確保、国内事業は第1四半期連結会計期間は多大な影響を被りましたが、第2四半期連結会計期間以降で挽回の気運が見られました。円高による為替差損は如何ともしがたいところがありますが、COO (chief operating officer) をはじめ、マーケティング機能、R & D機能、人事機能の一部を米国へ職務分散した効果は表れ、営業利益段階で黒字転換となりました。

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高20億8百万円（対前年同期比14.1%減）、営業利益1千万円（前第3四半期連結累計期間は4億7百万円の営業損失）、経常損失2千5百万円（対前年同期比94.6%減）となっております。また四半期純損失は1千9百万円（対前年同期比95.1%減）となりました。

なお、前第3四半期連結累計期間における連結業績には、平成22年9月1日に事業譲渡いたしましたCC事業の業績が含まれております。

②業績は、次のとおりであります。

(イ) 国内

当第3四半期連結累計期間は、第2四半期連結累計期間までは東日本大震災の影響に加え、節電対策から研修所を閉鎖する企業も出てくるなど依然厳しい状況が続きましたが、当第3四半期連結会計期間に入り、金融業界からの大口受注やIT業界からの継続受注、また、日本企業の海外案件など新たな取り組みなども案件化してきております。

こうした中で、日本企業のグローバル化の進展に伴う現地や日本国内での研修の実施が徐々に増加しています。こうしたグローバル案件は、当社のグローバル・ネットワークの強味を生かせるこれからの最有力分野との認識を持ち、鋭意取り組んで参る所存です。

この結果、売上高9億5千万円（対前年同期比15.8%減）、営業損失1億5百万円（対前年同期比13.5%減）となりました。

なお、CC事業は、平成22年9月1日に事業譲渡いたしました。

(ロ) 北米

大口ライセンス契約顧客の継続に加え、IT業界、製薬業界、金融業界からの引き合いが増え、売上高は堅調に増加しました。また、販売管理費は前第3四半期連結累計期間と同じ水準を維持したことから営業利益は前第3四半期連結累計期間から大幅に増加いたしました。

この結果、売上高8億9千万円（対前年同期比15.8%増）、営業利益5千7百万円（対前年同期比147.0%増）となりました。

(ハ) 欧州

既存顧客への集中戦略及び新規顧客のプロジェクトが加わり、売上高は増加しました。一方、来期を見据えて人員を増加したこと、原価率が高い案件の比率が高かったことにより、営業利益は前第3四半期連結累計期間を下回りました。

この結果、売上高2億5千8百万円（対前年同期比4.7%増）、営業利益1千5百万円（対前年同期比46.7%減）となりました。

(ニ) 中国

売上高は既存顧客の受注の減少により前第3四半期連結累計期間と比べ減少しましたが、オフィスの移転等による販売管理費の減少により、営業利益は改善いたしました。

この結果、売上高1億2千8百万円（対前年同期比25.7%減）、営業利益2千7百万円（対前年同期比32.1%増）となりました。

(ホ) アジア・パシフィック

オーストラリアは堅調に推移し、インドは現地の新規企業への販売活動に注力した結果、売上高と営業利益がともに前第3四半期連結累計期間を大幅に上回りました。

この結果、売上高1億2千3百万円（対前年同期比17.2%増）、営業利益1千8百万円（対前年同期比47.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結累計期間末における流動資産の残高は、11億8千9百万（前連結会計年度末は12億2千4百万円）となり、3千5百万円減少しました。これは主に、減少要因として、受取手形及び売掛金の減少1億4千3百万円がありましたが、増加要因として、現金及び預金の増加8千1百万円があったことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結累計期間末における固定資産の残高は、7億2千8百万円（前連結会計年度末は8億7千9百万円）となり、1億5千1百万円減少しました。これは、主に長期前払費用の減少7千万円、投資有価証券の減少2千5百万円があったことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結累計期間末における流動負債の残高は、6億8千9百万（前連結会計年度末は7億7千6百万円）となり、8千7百万円減少しました。これは、主に前受金の減少4千9百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少1千7百万円があったことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結累計期間末における固定負債の残高は、1億5千万円（前連結会計年度末は2億3千4百万円）となり、8千4百万円減少しました。これは、主に繰延税金負債の減少3千5百万円、長期借入金の減少2千8百万円があったことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産の残高は、10億7千8百万円（前連結会計年度末は10億9千3百万円）となり、1千5百万円減少しました。これは、主に四半期純損失の計上により利益剰余金が1千9百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の通期業績予想につきまして、平成23年11月14日付「営業外費用の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて、通期予想を修正しております。

詳細につきましては平成23年11月14日付「営業外費用の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前々連結会計年度に4億7千2百万円、前連結会計年度に3億8千9百万円の営業損失を計上しております。これは、前々々連結会計年度の下期から顕著となった経済状況悪化の影響の為、売上高が減少したことが大きく影響しております。当第3四半連結期累計期間は1千万円の営業利益を計上しておりますが、経常損失は2千5百万円、四半期純損失は1千9百万円となっております。

当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる状況が存在しております。

当社は、下記の経営改善策を実施することで収益構造を改善し、当該事象の解消に向けて取り組んでおります。

- ・内製化による外注費の削減。
- ・国内 HRD事業において、営業組織とソリューション組織の連携を更に強化することによる大口顧客への営業展開。
- ・資金繰安定のためCC事業譲渡後の新中期計画を策定し、取引金融機関の理解を得ております。
- ・経費削減の更なる実施。

今後は、経営改善策を実行することで、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	548,351	629,757
受取手形及び売掛金	594,650	451,016
たな卸資産	27,847	40,309
その他	85,050	93,326
貸倒引当金	△31,406	△25,307
流動資産合計	1,224,492	1,189,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	167,862	153,340
工具、器具及び備品（純額）	9,858	17,918
土地	60,725	60,725
リース資産（純額）	23,354	18,258
有形固定資産合計	261,799	250,241
無形固定資産		
ソフトウェア	27,706	13,734
リース資産	34,150	25,878
その他	863	852
無形固定資産合計	62,719	40,464
投資その他の資産		
投資有価証券	236,397	210,856
敷金及び保証金	124,316	103,191
長期前払費用	172,892	102,638
その他	28,598	28,147
貸倒引当金	△6,800	△6,800
投資その他の資産合計	555,403	438,032
固定資産合計	879,921	728,737
資産合計	2,104,413	1,917,838

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,276	132,117
短期借入金	183,068	181,000
1年内返済予定の長期借入金	55,730	38,400
未払金	26,394	12,147
未払消費税等	12,903	12,940
リース債務	17,722	16,523
未払法人税等	6,118	7,647
賞与引当金	28,819	34,500
役員賞与引当金	—	6,555
未払費用	157,396	156,224
前受金	116,665	67,488
その他	25,496	23,668
流動負債合計	776,587	689,209
固定負債		
長期借入金	32,800	4,000
リース債務	44,666	32,050
繰延税金負債	87,864	51,892
退職給付引当金	4,114	4,147
資産除去債務	48,292	46,865
その他	16,823	11,522
固定負債合計	234,559	150,476
負債合計	1,011,146	839,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	670,368	670,368
資本剰余金	505,122	505,122
利益剰余金	△232,882	△252,446
自己株式	△136	△136
株主資本合計	942,471	922,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△761	△2,841
為替換算調整勘定	132,834	140,179
その他の包括利益累計額合計	132,073	137,338
新株予約権	4,620	4,620
少数株主持分	14,103	13,287
純資産合計	1,093,267	1,078,153
負債純資産合計	2,104,413	1,917,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	2,337,966	2,008,221
売上原価	1,024,906	698,690
売上総利益	1,313,060	1,309,531
販売費及び一般管理費	1,720,822	1,298,557
営業利益又は営業損失 (△)	△407,762	10,974
営業外収益		
受取利息	1,268	1,414
受取配当金	1,000	1,000
受取使用料	4,000	9,000
賃貸料収入	4,945	646
雑収入	4,528	3,169
営業外収益合計	15,741	15,229
営業外費用		
支払利息	17,419	4,220
為替差損	37,619	26,834
持分法による投資損失	735	49
投資事業組合運用損	10,905	2,962
減価償却費	8,187	13,510
賃貸収入原価	4,945	646
雑損失	5,896	3,647
営業外費用合計	85,706	51,868
経常損失 (△)	△477,727	△25,665
特別利益		
固定資産売却益	—	43
貸倒引当金戻入額	2,338	—
新株予約権戻入益	3,078	—
大量退職に伴う退職給付債務戻入益	18,554	—
事業譲渡益	184,674	—
資産除去債務戻入益	3,506	—
退職給付制度改定益	—	954
その他	533	—
特別利益合計	212,683	997
特別損失		
固定資産除却損	708	—
減損損失	67,892	810
関係会社株式売却損	—	13,659
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,125	—
特別退職金	21,864	—
その他	483	—
特別損失合計	106,072	14,469

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
税金等調整前四半期純損失 (△)	△371,116	△39,137
法人税、住民税及び事業税	7,753	17,894
法人税等還付税額	△3,761	△1,628
法人税等調整額	26,506	△35,023
法人税等合計	30,498	△18,757
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△401,614	△20,380
少数株主損失 (△)	△2,460	△816
四半期純損失 (△)	△399,154	△19,564

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△401,614	△20,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	375	△2,080
為替換算調整勘定	△20,252	△9,875
持分法適用会社に対する持分相当額	2,015	17,220
その他の包括利益合計	△17,862	5,265
四半期包括利益	△419,476	△15,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△417,016	△14,299
少数株主に係る四半期包括利益	△2,460	△816

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。